

3 福 口 第 1 7 9 3 号
令 和 4 年 3 月 1 0 日

発煙模擬装置
使用者手引き
(第2版)

福島ロボットテストフィールド
令和 4 年 3 月 1 0 日

改訂履歴

版	施 行 日	内 容	作 成
1	令和 3 年 4 月 1 日	新規作成	技術課 課長代理 濱野 漂太郎
2	令和 4 年 3 月 1 0 日	詳細情報追加と一部削除	技術課 副主任 三枝 芳行

目次

内容

1	装置詳細	1
2	仕様.....	1
3	附属品	2
4	使用方法	2
5	注意事項	3
6	使用料.....	3

1 装置詳細

メーカー名：ダイニチ工業株式会社

品名：PORTA SMOKE

型名：PS-2006

※上記メーカーより取扱説明書がダウンロード可能となっております。

2 仕様

使用液	ポータースモーク専用液（非危険物登録品）	
液消費量	0.3～1.0L/時(可変)	
液受皿容量	0.3L/分	
スモーク能力	10～31m ³ (可変)	
質量	5.0kg	
外形寸法外形寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	213mm × 172mm × 296mm(本体)	
スモーク到達距離	3m（無風時）	
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格消費電力	最大	950/950W(余熱初期に短時間発生)
	発煙時	200/200W～420/420W
安全装置	ヒータ過熱防止装置、液体噴出防止装置 異常圧力逃し弁(安全弁)、機器異常高温防止装置	

使用例：密閉された空間で使用することで煙の発生した災害現場を再現できます。

3 附属品

【装置写真】



スモーク液排出口
本体(電源コード長さ 1.7m)



リモートコントローラー(コード長さ 10m)



専用ボトルキャップ



ケース

4 使用方法

- (1) 本機器を水平な場所に設置する。機器の前方 2m 以内に物を置かないこと。
- (2) スモーク液ボトルをセットする。
 - ア スモーク液ボトルのキャップを外し、「専用ボトルキャップ」を取り付け、確実に閉める。
 - イ スモーク液ボトルを機器上面にセットする。

ウ 「専用ボトルキャップ」の「送液チューブ」を「スモーク液吸入口」に奥まで差し込む。

エ 「送液チューブ」を引っ張り「スモーク液吸入口」から容易に抜けない事を確認する。

- (3) 電源プラグを100Vコンセントに差し込む
- (4) 「切替スイッチ」で操作モードを「本体」に切り替える。
- (5) 「電源スイッチ」をONにする。
- (6) 約2分後に予熱が完了し、「予熱完了ランプ」が点灯する。
- (7) 「発煙スイッチ」をONにすると、「発煙ランプ（緑）」が点灯し発煙を開始する。
発煙量は「発煙ボリューム」で調整可能
- (8) 運転停止するときは「発煙スイッチ」をOFFにし、電源スイッチをOFFにする。
- (9) 「受皿液」ランプが点灯したとき及び使用後には、「スモーク液排出口」の栓を外し、機器を操作部側に傾け、液受皿内のスモーク液を完全に抜くこと。抜き取った液は新聞紙等に染み込ませて可燃ごみとして廃棄する。「スモーク液排出口」の栓は確実に閉めること。
- (10) 「送液チューブ」を「スモーク液吸入口」から外す際には、黒いリングを下に押す。

5 注意事項

発煙模擬装置の使用にあたっては、以下を守ってください。

- (1) 雨、水のかかる場所で使用しないこと。
- (2) 火気・熱源のそばで使用しないこと。
- (3) スモーク噴出口付近と、噴出直後の煙は高温になるので触らないこと。
- (4) 人や物に直接、スモークを当てないこと。2m以上離すこと。
- (5) 吐き気・頭痛・めまいを起こす恐れがあるため、高濃度のスモークを吸い込まないこと。アレルギー症状を引き起こす恐れがあるため、アレルギー体質の人は近づけないこと。またその旨、事前に知らせること。
- (6) スモークを大量に吸い込まないこと。大量に吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、医師の診断を受けること。
- (7) スモーク液の取り扱い時は保護めがね、手袋を使用すること。
- (8) 屋内で使用する場合、事前にロボットテストフィールド・技術課に相談すること。
- (9) スモーク液は使用者が用意すること。

6 使用料

1 台あたりの使用料（RTF 所有数台数 4 台）

設備名	午前 (9 時～13 時)	午後 (13 時～17 時)	夜間 (17 時～21 時)	超過 1 時間 (0 時～9 時、21 時～24 時)
発煙模擬装置	100 円	100 円	100 円	20 円

※スモーク液は事前にご購入頂きご持参ください。

問合せ先

福島イノベーション・コースト構想推進機構 技術課 TEL：0244-25-2476

MAIL：robot3@fipo.or.jp